

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和2年度病虫害発生予察技術情報第12号について(送付)

このことについて、病虫害発生予察技術情報第12号(イチゴの炭疽病潜在感染状況)を発表したので送付します。

技術情報第12号

1 対象作物名: イチゴ

2 病虫害名: 炭疽病

3 これまでの発生状況

11月2半旬から12月1半旬に県下10か所の親株から複葉を採取し、エタノール浸漬法による炭疽病の潜在感染株調査を行った。

- ・潜在感染株率 22.5% (参考値(7月実施苗調査) 平年 36.5%、R2年 25.1%)
- ・潜在感染株確認ほ場率 100% (参考値(7月実施苗調査) 平年 87.9%、R2年 100%)

4 防除上注意すべき事項

- (1) 本病は主に雨媒伝染で感染が拡大する。ほ場をこまめに見回り発病株が新たに発生していないか確認後、発病株や周辺株を速やかに除去・処分し、発病の拡大防止に努める。
- (2) 発病後に治療できる薬剤はないことから、感染を防ぐため、3月中下旬の親株床から育苗終了時まで定期的な予防散布を徹底する。なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行う。
- (3) 採苗期、梅雨期、高温期、台風の前、摘葉後は防除を徹底する。
- (4) 風雨による感染を防ぐため、雨よけによる採苗、育苗が望ましい。その場合は、かん水は点滴チューブなどを用いて株元に行う。
- (5) 親株からの感染を防ぐため、採苗及びランナーの切り離しはできるだけ梅雨前に行う。
- (6) 育苗床の湿度が高いと発病しやすいため、苗の間隔を空け、風通しを良くする。
- (7) 窒素肥料を多用すると発病しやすいため、適正な肥培管理に努める。



写真1 炭疽病による葉の汚斑



写真2 炭疽病による葉柄の褐変

福岡県病虫害防除所ではQRコードを作成しています。携帯電話のQRコードリーダーでスキャンして頂くと、病虫害防除所ホームページに簡単にアクセスできますので、御利用下さい。



最新の病虫害発生状況